

2024年3月期

第1四半期決算説明資料

CYBERDYNE株式会社

2023年8月14日

# FY2023 Q1 業績ハイライト

連結売上収益の増加：+294百万円（+39%）

- ✓ 欧州（イタリアとトルコ）向けの医療用HAL等のレンタル売上増加（+36百万円）
- ✓ 米国RHG社の治療サービス売上の増加（+110百万円）
- ✓ 独LeyLine社（モビリティ会社）の買収（+162百万円）

営業損失の拡大：178→308百万円（▲130百万円）

- ✓ 海外買収子会社（米独の2社）の新規事業立ち上げに伴う初期投資に関する経費（▲127百万円）

税引前利益の黒字要因：767百万円

- ✓ スタートアップ投資による有価証券評価益（868百万円）
- ✓ 円安による為替差益（113百万円）

# 連結業績サマリー：前四半期比較 (IFRSベース)

(単位：百万円)

	FY2022 Q1	FY2023 Q1	増減額	前年同期比
売上収益 (粗利益)	751 ☆ (457)	1,045 (566)	+294 ※1 (+108)	+39.1% (+23.7%)
営業利益	-178	-308	-130 ※2	—
税引前利益	372	※3 ※4 767	+395	+106.2%
当期利益 (親会社帰属)	241	※5 330	+89	+36.9%
EBITDA	-88	-215	-127	—

※1 売上増加 (294M) の内訳 (対前期比)  
 治療サービス等 +110M (米国RISEグループの売上増)  
 新領域開拓 +162M (独モビリティ会社の買収)

※2 ☆販管費増加(254M)の主な内訳 (対前期比)  
 海外買収子会社2社の販管費 +230M

※3 投資有価証券関連益 868M (純額) ※ 前期 443M  
 金融収益(評価益) 246M、CEJファンド損益 623M

※4 その他 為替差益 113M (前期比 +19M)

※5 法人税等 482M 評価益にかかる税効果 392M

☆治療サービスの売上原価の見直しにより、  
 FY2022Q1のその他販管費の一部を売上原価へ振替

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± その他の収益・費用

# 事業別の連結業績：売上収益/営業利益(マージン)

(単位：百万円)

		FY2022 Q1	FY2023 Q1	増減額	前年同期比
製品レンタル等	売上	388	411	+22	+6%
	☆ 営業利益 (マージン)	170 (44%)	196 (48%)	+26	+15%
治療サービス等	売上	286	396	+110	+38%
	☆ 営業利益 (マージン)	▲3 (▲1%)	▲131 (▲33%)	▲129	-
新領域開拓	売上	77	239	+162	+210%
	☆ 営業利益 (マージン)	▲30 (▲39%)	▲85 (▲36%)	▲55	-
☆☆ RD費・本社費等	調整額	▲316	▲288	+28	
連結合計 (IFRS基準)	売上	751	1,045	+294	+39%
	営業利益 (マージン)	▲178 (▲24%)	▲308 (▲30%)	▲130	-

☆ 事業別の営業利益は、事業ごとの売上収益から営業費用を控除した損益額

☆☆ RD費・本社費等は、研究開発費、本社管理費、その他の収益・費用等の調整額

・製品レンタル等：当社グループの製品のレンタル収入（販売収入を含む）

・治療サービス等：当社グループの治療施設における治療費収入（ロボケアセンター利用料を含む）

・新領域開拓：当社グループの新領域における売上収入（モビリティ子会社、睡眠アプリ子会社など）

# 製品レンタル等の売上収益（製品別内訳）

**海外向け医療用HAL下肢タイプのレンタル売上増加 +48百万円（+61%）**

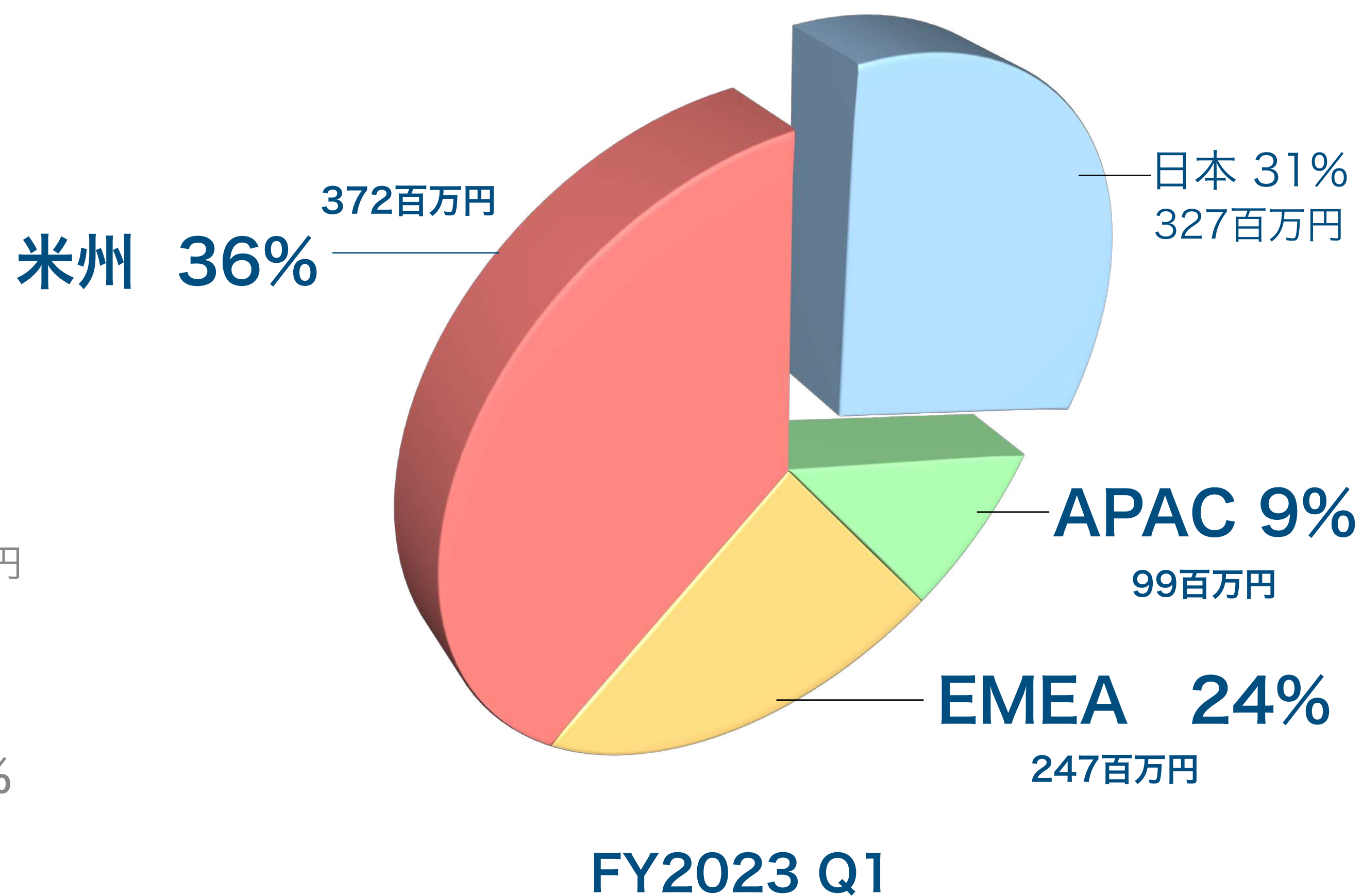
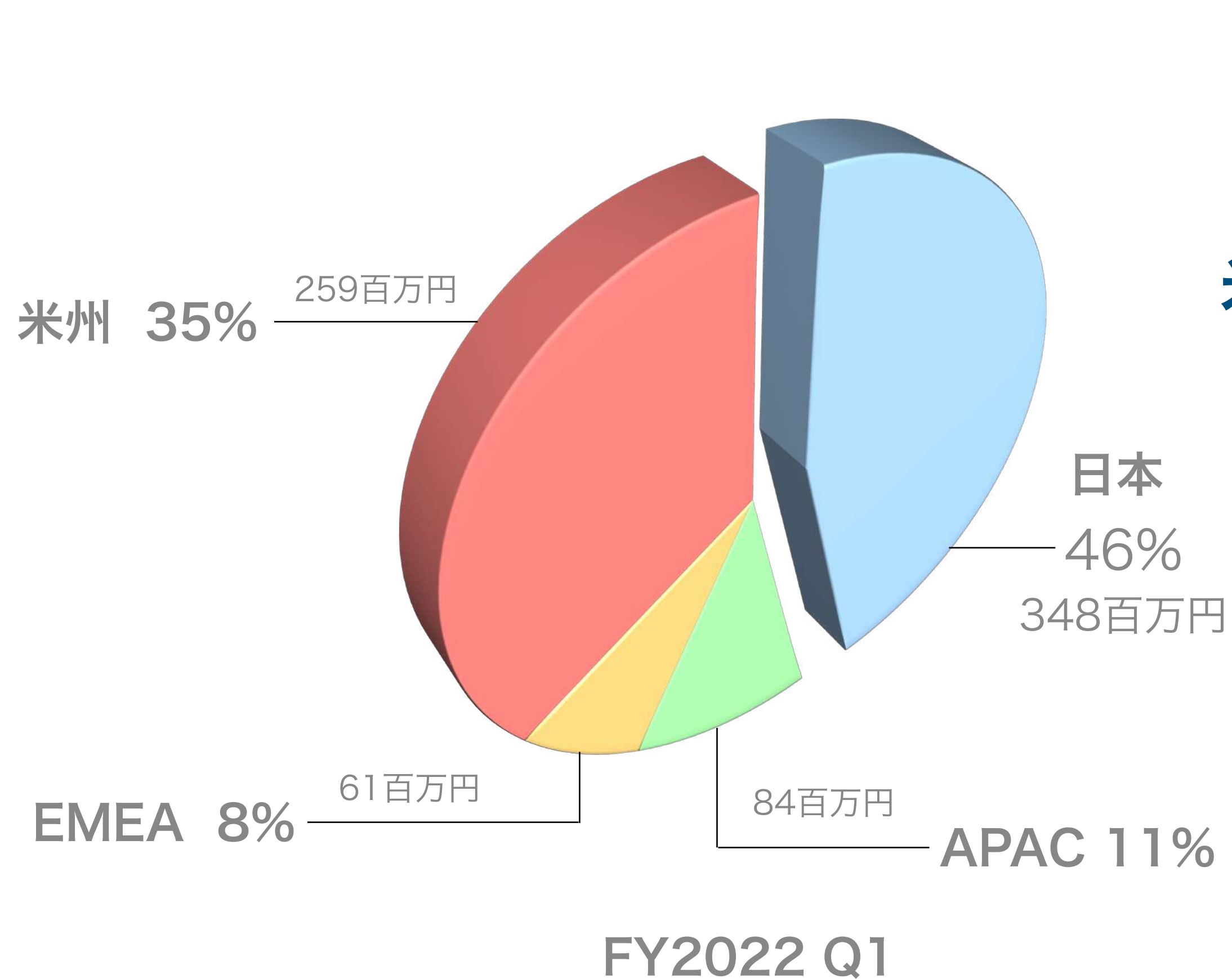
用途	製品タイプ	国内	海外	合計
サイバニクス治療 (機能改善・機能再生)	HAL下肢タイプ (医療用)	83 +1% (82)	127 +61% (79)	209 +30% (161)
	HAL下肢タイプ (非医療用)	37 (45)	-	37 (45)
	HAL単関節タイプ	22 (27)	23 (21)	45 (47)
介護自立支援	HAL腰タイプ	25 (38)	28 (26)	53 (64)
作業支援	HAL腰タイプ	11 (18)	-	11 (18)
	移動ロボット (CL02等)	21 (18)	-	21 (18)
医用応用研究	光音響イメージング (Acoustic X)	0 (0)	19 (17)	19 (17)
	その他	8 (11)	6 (7)	14 (18)
	合計	208 ▲13% (239)	203 +35% (150)	411 +6% (388)

(単位：百万円)

上段：FY2023 Q1  
(下段：FY2022 Q1)

# 地域別の連結売上収益

**海外売上が大幅増加 +314百万円 (海外比率が 54%から69%に)**



米州 : 北米及び中南米  
 EMEA : Europe, the Middle East and Africa (欧州、中東及びアフリカ)  
 APAC : Asia-Pacific (アジア太平洋) ※日本を除く

# (参考) 事業別・地域別の売上収益 (マトリックス表)

製品レンタル(EMEA)と治療サービス (米国) と新領域 (EMEA) が大幅増収


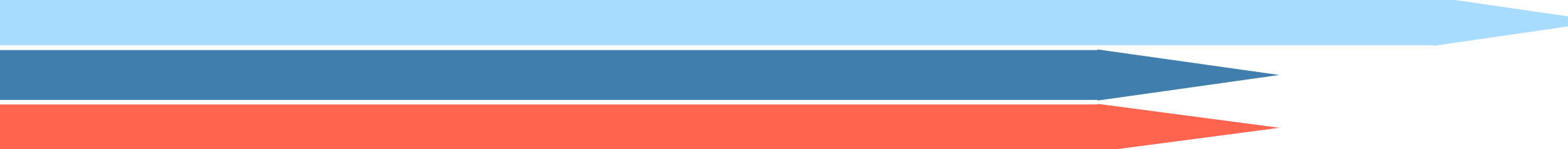
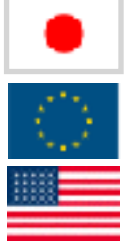
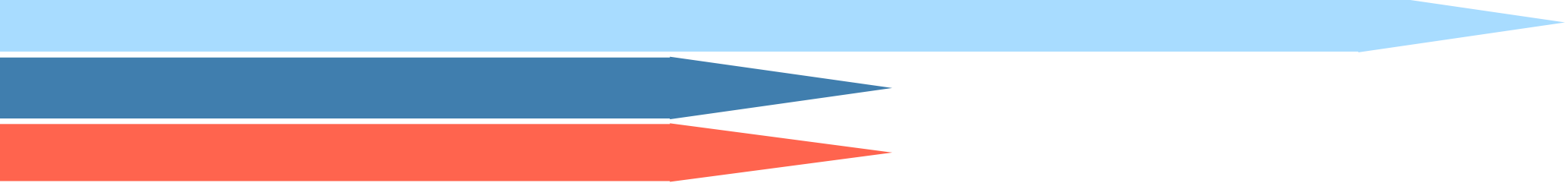
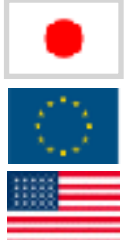

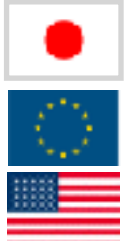
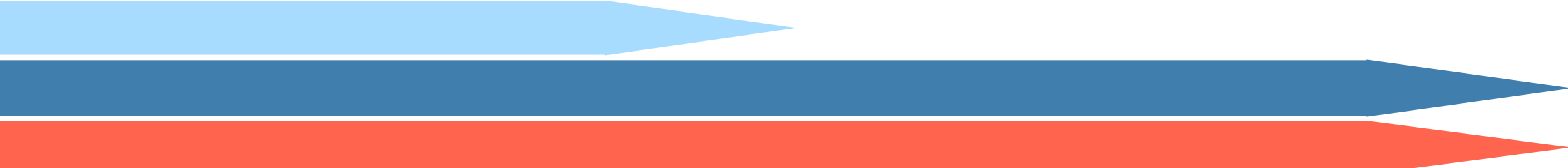
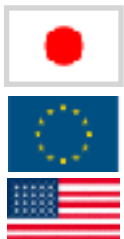
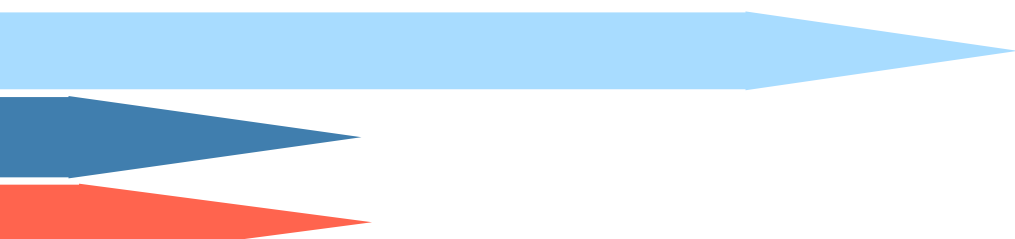
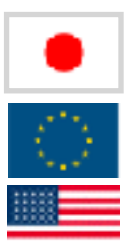
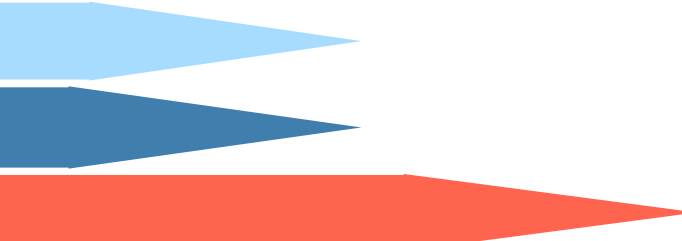
(単位：百万円)

FY2023 Q1 (FY2022 - Q1)	日本	米州	EMEA	APAC	合計
製品レンタル等	208 ▲13% (239)	28 +10% (25)	76 +89% (40)	99 +17% (84)	411 +6% (388)
治療サービス等	43 +34% (32)	344 +47% (234)	9 ▲55% (20)	-	396 +38% (286)
新領域開拓	77 ▲1% (77)	-	162 (-)	-	239 +210% (77)
合計	327 ▲6% (348)	372 +44% (259)	247 +308% (61)	99 +17% (84)	1,045 +39% (751)

# 開発パイプライン (1)

## 1) 医療用HAL (下肢タイプ)

2023年6月30日現在

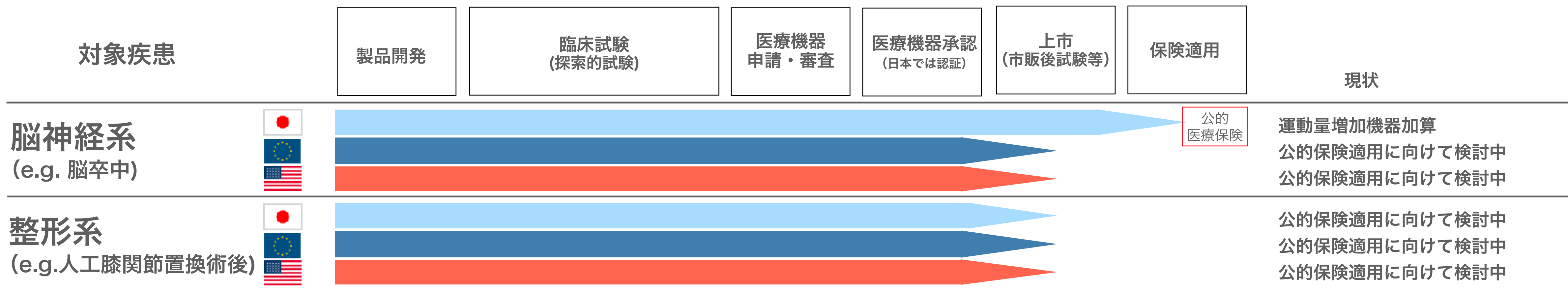
対象疾患	製品開発	臨床試験 (探索的試験)	治験 (検証的試験)	医療機器 申請・審査	医療機器承認 (日本では保険適用)	上市 (市販後試験等)	保険適用	現状
<b>進行性神経筋難病</b> (ALS・筋ジストロフィー等8疾患) 							公的 医療保険	令和4年度改定(DPC出来高算定へ) 公的医療保険の申請審査中 (ドイツ) 公的保険適用に向けて検討中
<b>脊髄疾患</b> (ウイルス性・遺伝性の2疾患) 							<b>医療機器承認 (適応追加)</b>	公的医療保険を申請中 医療機器の申請準備中(適応拡大) 医療機器の申請準備中(適応拡大)
<b>脊髄損傷</b> 							<b>臨床試験に 公的医療保険 先行適用</b>	当局と申請方法を協議中 公的医療保険用の試験準備中 (ドイツ) 公的保険適用に向けて検討中
<b>脳卒中</b> 								当局との協議と並行し、追加試験を検討中 公的保険適用に向けて検討中 公的保険適用に向けて検討中
<b>脳性麻痺</b> 								医師主導治験を実施中
<b>多発性硬化症</b> 								パイロット試験を実施中



# 開発パイプライン (2)

## 2) 医療用HAL (単関節タイプ)

2023年6月30日現在



## 3) 医療用HAL (腰タイプ)

2023年6月30日現在



# 医療機器承認の進捗状況（1）

## 米国、欧州、アジアで医療機器化が大きく進展

### 1) 医療用HAL（下肢タイプ）

2023年6月30日現在

		脳卒中	脊髄損傷	神経筋疾患*
日本		(当局との協議と並行して追加試験も検討中)	(当局と申請方法を協議中) ※ 脊髄疾患で、ウィルス性 (HAM) と遺伝性 (痙性対麻痺) は承認済み	承認
米国		承認	承認	承認
EMEA	欧州 (EU)	承認	承認	承認
	トルコ	承認	承認	承認
	サウジアラビア	承認	承認	承認
APAC (アジア太平洋)	マレーシア	承認	承認	承認
	インドネシア	承認	承認	承認
	タイ	承認	承認	承認
	台湾	(申請中)	承認	(申請中)
	シンガポール	承認	承認	承認
	オーストラリア	承認	承認	承認

\*神経筋難病8疾患 (ALS、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、シャルコーマリートゥース病、筋ジストロフィ、封入体筋炎、遠位型ミオパチー、先天性ミオパチー)

# 医療機器承認の進捗状況（2）

## 単関節タイプの医療機器化も着実に進展

### 2) 医療用HAL（単関節タイプ）

2023年6月30日現在

		脳神経系（e.g. 脳卒中）	整形外科系（e.g. 人工膝関節置換術後）
日本		認証 ※	認証 ※
米国		承認	承認
EMEA	欧州（EU）	承認	承認
	トルコ	承認	承認
	サウジアラビア	承認	承認
APAC （アジア 太平洋）	マレーシア	承認	承認
	インドネシア	承認	承認
	タイ	承認	承認
	台湾	承認	承認
	シンガポール	承認	承認
	オーストラリア	承認	承認

\*日本の許認可においては「承認」と「認証」とが明確に区別されているため、本表において正しい表記を用いた。外国においては医療機器の許認可を「承認」表記に統一。

# HALのグローバル展開状況

## 新型コロナ以降も、米国・欧州・APACでHALの導入が進展



2023年6月30日現在

本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。